

3PL



ロジスティクスの自動化は、全体的な事業運営コストの削減に大きなメリットをもたらします。3PLは、商品の保管、流通、クロスドッキングを含む統合物流ソリューションを提供する。顧客との短期契約では、スケーラビリティと商品のトレーサビリティを向上させる高性能ソリューションが求められる。自動化の主な利点の一つは、付加価値の低い作業を排除し、置き換えることで、困難な労働条件を削減できることです。

BALYOは、既存のインフラでの利用が可能で、物流流通のための拡張性のあるソリューションを開発しました。WMSを使って、BALYOのロボットは荷物の輸送、保管、クロスドッキング、あるいはサプライチェーンプロセスを合理化する可能性のあるあらゆるタスクを管理することができます。今日のロボティクスは、効率を高めるための厳密なツールとしてだけでなく、顧客のオペレーションコストを削減することも求められています。

業界の特性

- 自動化によって労働力の不足を補う
- インフラを刷新することなく拡張可能なソリューションの選択
- パレット密度を高めるための保管/棚の高さの最適化
- スループットとトレーサビリティの向上
- さまざまな種類の荷物の取り扱い
- ロジスティクスの安全性を主要業績評価指標として定義する

なぜ、ロボットなのか？

1

ROIのメリット: より大きなメリット
厳しい要求に応える

2

効率化: 作業のスリム化

3

品質: 作業精度の向上



BALYOがどのように3PLで使われているのか？

3PL業界における典型的なアプリケーションフローの例としては、以下のようなものがあります：

- BALYOのロボットにより、入庫レーン/出庫エリアからパレットをピックアップし、コンベアエリアにドロップするまたは直接、コンベアヘッドドロップすること。
- 或いは、BALYOロボット駆動で、入庫レーン/出庫エリアからパレットをピックアップし、再梱包エリアにドロップすること。また、入庫・出庫エリアからパレットをピックアップし、補充包装エリアにドロップすること。
- これらのエリアから、BALYOは最終製品をアウトバウンドレーンに搬送するロボットを配備すること。倉庫から搬出すること。

BALYOの特長

- 生産/流通/保管アプリケーションのための完全なソリューション
- 24時間365日の使用とシステムの安定稼働性
- 運用の柔軟性
- 適応ナビゲーション技術
- 大きな負荷タイプも可能なロボットのラインアップ
- 幅広いロボットポートフォリオ
- 大手マテリアルハンドリングサプライヤーとのサービスネットワークパートナーシップ
- WMS/ERP接続
- 顧客環境との連動
- 生産性とスループットの向上

BALYO 3PL 導入実績



導入台数



顧客



現場